

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：みかんキッズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	スペースは十分確保されている。	スペースは十分で整理整頓されている。	現状維持できるよう、日々の整理に加えて定期的に整理整頓をする。
	2 職員の適切な配置	外出時や利用児により多く配置する時もあるが、適切な配置はできている。	適切という評価がほとんどだが、専門性のある職員を増やして欲しい。という声もあった。	専門性のある職員を増やす。(研修の実施、資格取得のサポートなど)
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	個々にわかりやすいよう文字だけでなく写真やイラストで示し配慮している。バリアフリーは充実している。	階段が急なのが気になる。その日の活動や物を置く場所など分かりやすくしている。	手すりは設置されているのでドアの施錠と職員の配置を今まで通り維持する。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃とアルコール消毒。クレベリン、空気清浄機も設置。	明るくいつもきれい。食事する部屋が別で衛生的。	日々の清掃を継続。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	課題設定評価表などの記入に伴い振り返りや職員間で日々話し合っている。		どうしてもパートの先生方(出勤されていない場合)伝わるのが遅れるので連携をしっかりとる。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施されていない		実施するのか検討していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	研修など 社内では行われ参加しているが、外部の研修に関する情報提供はしているものの研修機会の確保は出来ていない。		今まで通り外部研修の情報提供しキッズ内でも研修や勉強会を実施していきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	面談を行い支援計画を作成している。	面談をし具体的な支援計画を記載されている	面談時期以外にも話す機会を今後も持つようにし、計画作成に役立てる。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	面談の際の保護者様の要望を取り入れ計画を作成しているが個別活動 集団活動を特に意識していない。		個別活動と集団活動を意識し計画を作成するようにする。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	必要な項目 具体的な内容を記載している。		より具体的に内容を記載するよう心掛ける。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に沿った支援を実施できるよう努力している。	個別課題も実施されており計画に沿った支援が実施されている。	今まで通り継続していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	会議などでも話し合い、意見を出し合って立案している。		今まで通り継続していく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日 土曜日 長期休暇によって利用時も違いデイとの交流や外出のプログラムなど考慮している。		今まで通り継続していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定で継続している活動も少しずつ変化をもたせ工夫している。		活動に参加しやすいようこれからも話し合い工夫していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	急遽 変更することあるが事前に相談 話し合い確認している。		支援内容の確認を今まで通り徹底しつつ臨機応変に対応できるようにする。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	課題設定評価表などの記入する際など個々の情報を共有している。		今まで通り評価表も活用し情報を共有するようにする。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	課題設定評価表を記入し話し合い次の支援の参考にしていく。		より正確に詳細まで記録するようにする。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	半年に一度は面談 モニタリングし計画を見直し作成している。		今まで通り継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	担当者会議には参加していないがモニタリングの際に情報を共有している。		相談支援員.さんとの情報の共有を継続。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	重症心身障害の利用者さんが在籍していない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	重症心身障害の利用者さんが在籍していない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	幼稚園と直接やり取りはしていないが地域の保健師と情報を共有している。 みかん内で併用されている利用者の方の情報共有。		幼稚園と情報を共有できるよう機会をつくる。 もっと頻繁にみかん内でも情報を交換・共有をできるようにする。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	児童発達支援事業のため該当しない。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修の情報は提供している。		今まで以上に情報を集め受講の促進に努める。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	他機関との交流は出来ていないがデイとの交流は頻繁にさせてもらっている。	デイとの交流はしてくれている。	少しの時間でもいいので、他機関と可能な活動を一緒にする機会を作るようにする。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の会社でのイベントに参加させてもらっているがこちらに招待しきていただいたことはない。	地域の交流は聞いたことはない。	地域の方とも交流できる場となるよう検討する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明している。	契約時に説明してもらっている。	今まで通り継続していく。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談の際 具体的な話をし説明している。	丁寧に説明してくれている。	今まで通り継続していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレントトレーニングを具体的に実施はしていないがその都度対応の仕方など話すようにしている。	もっとペアレントトレーニングをして欲しい。 連絡帳や送迎時にしっかり話をしてくれている。	ペアレントトレーニングとして個々にはお伝えしているのでそれを継続していく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎の際 時には電話などで日頃の様子をその都度伝えている。	丁寧に説明してくれている。	今まで通り継続していく。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	その都度 対応している。	連絡帳や送迎時 電話などでアドバイスしてくれている。	今まで通り継続していく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	参観日や行事の時などに保護者様同士話せる場を作っている。	もっと他の保護者さんと交流したい。 交流の必要はない。	交流する曜日や回数を検討する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	すぐに連絡もしくは送迎時に直接話を聞くようにし対応している。	すぐ対応してくれている。	今まで通り迅速に対応していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	その都度相手に合わせて 分かりやすく伝えるようにしている。(子どもには視覚支援・保護者様には連絡帳など)	子どもがことばで伝えづらい時には代弁して伝えてくれている。	今まで通り配慮していく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月に1回は通信を発行し予定や活動内容などをお知らせしブログも定期的に更新している。	お便りやブログを見ている。	ブログをもう少し更新できるようにする。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約の際 説明し書面にて確認、署名 捺印してもらっている。	とても注意し対応されている。	今まで通り継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	契約時に書面にて説明している。感染症に関しては流行が予想される時期の前に更に詳しく書面にてお知らせ口頭でも説明している。	契約時に説明してもらっている。防犯や施錠はしっかりされている。	今まで通り継続していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	避難場所 避難経路の確認。避難の仕方(身の守り方)を分かりやすく動画や紙芝居などで伝えている。	実施されている。	職員間で今一度確認する。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	「虐待とは」と書面では知らせ支援中の対応などその都度伝え確認している。		研修を行い今一度、確認する。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	「やむを得ず」の際はその都度 保護者様に伝え確認している。計画には記載していない。		今一度話し合い確認する。計画にも記載するようにする。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	定期的に現時点での対応のままでいいのかわを確認している。		今まで通り保護者様と給食室と連携をしっかりとるようにする。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットはその都度 職員間で共有している。		今まで通り継続していく。